

用語解説

◎ 今回使用した検査問題については、「大領域」、「中領域」、「小問」の、それぞれの通過率が見られるように作成されている。

- **大領域**は、学習指導要領に示された内容を3～4の領域に分類したものである。
中領域は、大領域を学習内容で9～12の領域に分類したものである。

- **通過率**は次の式で求めた値である。

$$\text{領域ごとの通過率} = \frac{\text{各領域ごとの個人の正答率の合計}}{\text{受験した児童（生徒）の総人数}^*} \times 100$$

※ 「総人数」は、全国の通過率においては、この検査を作成する際、標準化するために受験した児童（生徒）の数である。本県の通過率においては、抽出調査の総人数である。

- **全国比**は、本県の通過率を全国の通過率と比較した値で、次の式で求められる。

$$\text{全国比} = \frac{\text{本県の通過率}}{\text{全国の通過率}} \times 100$$

100であれば、全国平均という意味であり、値が高いほど到達状況において優れていることを意味する。

◎ 本教育センターにおける今までの研究については、次のように略記した。

- 平成6年度「福島県の中学生の学習に対する意識と行動」
 - 平成7年度「福島県の小学生の学習に対する意識と行動」
 - 平成7年度「学力到達度調査研究」
 - 平成8年度「『学力到達度調査』に関わるテストの結果分析と考察」
 - 平成9年度「学力到達度調査研究」
- ⇒ 「意識調査」
- ⇒ 前回（の調査）
- ⇒ 「平成8年度調査」
- ⇒ 今回（の調査）